

いたやなぎ 町議会だより

平成30年
6月定例会

第18号
2018. 8. 10

主な内容

- 5人が一般質問 P2～6
- 常任委員会審査他 P7
- 研修等報告 P8～9

おらほぢの自慢！
～ 稚児行列 ～

薬五寺（五林平）

町民の声を町政に

第10回定例会一般質問

第10回板柳町議会定例会が6月8日から13日までの日程で開催されました。6月11日に行われた「一般質問」に、5名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、一人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。



葛西 幸男

板柳中学校の アスベスト使用

問 アスベストは、健康被害に影響があると言われているが、今後解体される板柳中学校は、建設から50年以上経過している。建物にアスベストが使用されているのかお伺いしたい。

答 (木村教育長) 校舎棟の煙突内部に使用されているスレート管にアスベストが含まれているので、アスベストが飛散しない方法で解体工事を進めていきたいと考えている。

りんご園への 仮設トイレ設置

問 現在少子高齢化が物すごいスピードで進んでおり、超高齢、人口減少社会に突入している。それに

伴い、当然に農家人口も減少していて、経営面積の多いリンゴ農家などは、作業員を何人も雇用している状況にある。町外や山ろく地帯などにリンゴ園を所有している農家もあり、労働環境、衛生環境面から考えても、仮設トイレが設置されていると、非常に便利であると考えられる。そこで、リンゴ園に仮設トイレを設置する場合、補助事業などの支援は考えられないのかお伺いしたい。

答 (成田町長) 農家の皆様が安心して農作業に取り組めるようにリンゴ園に仮設トイレを設置することは、労働環境の改善にもつながっていくものと考えている。今後、自宅からリンゴ園まで距離が離れているなどの農家を対象に、どの程度の需要があるのかを確認しながら対応を考えてまいりたい。

問 聞くところによると過去には補助があつたみたいなので、できるだけ早目に補助を出してもらいたいと願っているが、今答えることはできないか。

答 (成田町長) やはり農家の皆さんが安心して毎日の作業がやれるようにするためには、リンゴ園の中に仮設トイレをつくることもすごく大事だということふうに認識しているので、今後、近隣の市町村の実態を調査しながら考えていきたい。



板柳中学校解体

議会を傍聴しませんか

次の定例会は9月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

月 日	内 容
9月 3日(月)	本会議 委員会報告、提案理由の説明・報告、監査報告、決算特別委員会の設置
9月 5日(水)	本会議 一般質問
9月 6日(木)	常任委員会 総務産業厚生・福祉建設文教
9月10日(月)	特別委員会 決算特別委員会
9月11日(火)	特別委員会 決算特別委員会
9月12日(水)	本会議 委員長報告、質疑・討論・採決

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。なお、傍聴できる人数は51人となっております。



※開催時間はいずれも午前10時です。



松森 俊逸

りんごワーク研究所への町長の関与のあり方

問 りんごワーク研究所については、9月決算議会において議会で提出される経営報告のみで、その経営状況を把握しなければならぬ。この現状について町長はいかに考えるか。

答 (成田町長) りんごワーク研究所は、町の理事8名のうち議長と総務産業厚生常任委員長に、理事としてりんごワーク研究所の経営、運営に関わっている。各年度の事業報告及び収支決算については、5月の理事会で承認を受け、その後6月の評議委員会へ提出され、承認を受けることになっている。こうした手順を踏みながら毎年議会へ決算報告書を提出してお

り、また広報いたやなぎに決算報告の内容を掲載し、経営状況を公表している。で、ご理解をいただきたい。

社会貢献事業「しあわせネット」

問 青森しあわせネットワーク(※)では、緊急的支援を必要とする住民に経済的サポートをすることになっているが、当町における実績はあるか。

答 (成田町長) 板柳町社会福祉協議会、つがる三和会、鶴住会の各施設が事業参加法人となり活動している。これまで光熱水費、医療費の支払い、約7,000円を本人にかりわり支払いするなど、経済的支援を行った実績がある。

身元保証人のいない高齢者の介護施設入所

問 高齢者が介護施設に入所する際、身元保証人がいない場合は、入所を拒否する施設が約3割に上るといふふうな報道が先般された。当町の実態はいかかっているか。

答 (成田町長) 町内の介護施設に対し、問い合わせをしたところ、身元保証人がいないことを理由に入所拒否はしていないとの回答があった。

幼児教育・保育の無償化

問 幼児教育、保育の無償化が認可保育所だけではなく、認可外施設にも来年度から国の事業として適用されるが、当町の幼児教育、保育行政にはどのような影響があるのか。

答 (成田町長) 幼児教育、保育の無償化については、来年度から実施する方向で国において決定している。内容としては、まず3歳から5歳までの子どもたちの保育に係る経費の無償化を行う。ゼロ歳から2歳までの子どもたちについては、住民税非課税世帯を対象として無償化することとしている。当町においては、3歳児から5歳児については、町内外の保育所、認定こども園等への入所率がほぼ100%であるので、入所に係る影響

はないというふうに考えている。ゼロ歳児から2歳児については、全面的な無償化でないこともあり、急激に入所希望者がふえることはないと考えている。

防災対策強化

問 当町における防災対策の人材育成はいかかになっているか。

答 (成田町長) 県が市町村の防災担当職員を対象に実施する防災啓発研修やネットワークシstem研修などに職員を参加させることにより、防災知識の向上を図っている。

免許外教科担任

問 免許外教科担任は、一時的な措置として認められるが、当町の実態はいかかっているのか。

答 (木村教育長) 板柳中学校においては、昨年度は技術の授業において、免許外の教員が担当したが、今年度は、免許外教科担任の状況はない。

学校給食

問 国の経済財政諮問会議でも給食費無償化の提言がされているが、町長はいかに考えるか。

答 (成田町長) 財源確保が必要となることから対応することは難しいと考えている。

運動部活動

問 スポーツ庁の有識者会議は、本年3月、国立私立中学校での適切な運動部活動の運用に向けた指針を、全国自治体と学校に通知した。この指針に基づく具体的な活動方針づくりが求められているが、当町における活動方針に本指針がどの程度反映されているか。

答 (木村教育長) 県ではスポーツ活動の指針の改訂版を策定中である。町教育委員会としては、県の改訂版をもとに中学校とも協議をしながら運動部活動の指針を策定し、その運用に徹底していきたいと考えている。

(※) あおもりしあわせネットワーク：青森県の社会福祉法人が連携して既存の制度やサービスで対応できない課題に迅速対応することを目的に、社会福祉法人のための社会貢献活動



三戸 玲子

平均寿命と健康寿命

問 厚生労働省は、2015年の市町村別生命表を公表し、男性は、24位であったが、女性は全国ワースト9位となった。この原因について、どんなことが考えられるのか伺いたい。

また、男女の健康寿命（※）について、我が町の現状を伺いたい。

（成田町長）

答 板柳町の平成27年の男女平均寿命は、5年前の平成22年の数値と比較して、男性は1.1歳増の78.5歳、女性平均寿命は、5年前の平成22年の数値と比較して、男性は1.1歳増の78.5歳、女性平均寿命は0.6歳減の85.4歳で県内38位という非常に不本意な結果となった。女性の平均寿命が下がった原因としては、40歳から65歳までの働き盛り世代の死亡者数が増加したことなどが考えられる。

健康寿命については、平成28年の都道府県単位のデータでは、男性は全国平均の72.14歳に対し、本県は71.64歳で全国34位となっている。女性は、全国平均の74.79歳に対し、本県は75.14歳で全国20位となっている。女性については、全国平均を上回っている。なお、市町村単位のデータは発表されていない。

問 更なる受診率の向上を考えているのか。

答 （青山健康推進課長） 新規事業としては、ピロリ菌に対する抗体検査を新たに追加している。さらに健康ポイントカードを導入し、受診率のアップに努めたい。

問 以前健康宣言をやったが、次の一手も何か考えているのか。

答 （成田町長） 町民を対象にして大々的に健康祭りをやって、町民の健康の意識を高めてもらうといったことが大事だと思っている。自分の健康は自分で守るという意識が最も大事なことだと思っている。町民の意識を高めるので、町民の意識を高

めながら、町の各種事業、これを重ね合わせて健康長寿に努めていきたいというふうに考えている。

上下水道

問 上下水道の配管に石綿管があった時に問題となる。県の認可がおりて、再び古い石綿管の場所を施工するようにになったのか。また、施工するとしたら、どの地区から工事を行うつもりか。

答 （成田町長） 上下水道における石綿管を中心とする老朽管は、経年劣化等により管路の破損が生じやすく、漏水の大きな原因となっているほか、大規模地震が発生した際は、大きな被害を受けることが想定されている。このことから老朽管の耐震管への更新工事については、板柳町水道事業基本計画に基づき、平成29年度から現地調査、測量及び詳細設計を順次委託しており、今年度から平成38年度の完了を目標に工事を計画している。

問 現在の水道の漏水状況はどんな状況か。

答 （成田町長） 水道管の漏水は、地下で漏水している場合が多く、発見は非常に困難となっており、近年当町においても、漏水量は増加傾向にある。当町の漏水防止対策として、老朽管を計画的に更新し、耐震化の向上に努め、また日常業務においても管路の巡回を実施しており、地上漏水の早期発見の徹底を図っている。

問 未整備地区の下水道について、公共下水道なのか、農村集落排水事業なのか。また、認可はどうなっているのか。そして、どの地区から計画をして、どの

答 （成田町長） 事地区は、飯田地区、飯田の集会所付近を約745メートル、広栄団地付近を約380メートル前後、掛落林地区を約200メートル予定している。

問 近隣市町村と比べて下水道の加入率は。

答 （楠美上下水道課長） 近隣類似の団体との比較だが、鶴田町が59.5%、藤崎町が78.6%である。

答 （楠美上下水道課長） 平成30年度の水道の工

事地区は、飯田地区、飯田の集会所付近を約745メートル、広栄団地付近を約380メートル前後、掛落林地区を約200メートル予定している。

（※）健康寿命：介護を受けたり寝たきりになったりせず、日常生活を送れる期間



長内良蔵

第八十回国民体育大会

問 現在平成37年に青森県で実施される第80回国民体育大会において、地域

スポーツの普及、推進を図り、健康、体力の保持増進及び各地域が元気で活力に満ちた姿を目指すためデモンストレーションスポーツ、その実施競技及び会場市町村が募集されている。この競技にはウォーキングも含まれている。当町では、りんごの里いたやなぎまるかじりウォークでの実績もあり、当町で開催を希望する考えはないか。

答 (成田町長)

48年ぶりとなる2025年青森国体であるが、その施設基準を満たすまでの体育施設を保有していない当町にとっては、管内においてデモンストレーション

スポーツの開催は、町民の国体への参加意識を高めることはもちろんのこと、全国へ板柳町をアピールする絶好の機会であると認識している。しかし、国体の期間がりんごまるかじりウォークと重なることが想定されることや国体の運営に係る人員の派遣要請など、今現在では県の国体準備室でも不透明な状況であるので、今後それらの条件が整うのであれば、ぜひ応募したいと考えている。

問

りんごの里いたやなぎまるかじりウォークは18年も続いており、1日あたりの集客人数が県内でも一番という実績になっている。

このウォーキングを開催することによって、この町から国体に参加することができるので、ぜひ開催していただきたいが、どう思うか伺いたい。

答 (成田町長)

板柳町では、このウォーキングの土壌がもう既にでき上がっていると考えている。これは、健康づくりにもつながっていくので、デモンストレーションスポー

ツ、何とかこれを当町で開催して、実現したいというふうに思っている。ただ、運営については、担当課のほうにもその辺よく調査させながら進めていきたいと考えている。



りんごの新品種
明秋の方向性

問 新品種明秋の今後の生産拡大、PRの方法など、方向性について町としての考えを伺いたい。

答 (成田町長)

現在のところ、苗木は一般には販売されておらず、町の新品種育成研究会の会員の皆様に苗木を配布しながら栽培の拡大を進めていると伺っている。板柳町にとって、町から誕生した第1号のリンゴ新品種である

ので、今後ともさまざまな機会を捉え、研究会の活動と一体となりながら生産拡大あるいはPR活動に努めてまいりたいと考えている。

問

会員がつくった穂を町民に広げていくというやり方しかないが、一般の人に広く接いでもらって、3年後収穫するために今から町を挙げて情報発信等のバックアップをしてやることはできないものか。

答 (成田町長)

市場に出回るとなれば、もう5年以上かかると思うが、そういったやり方がいかがどうか、違ったやり方があるのかどうかかわらないが、担当課のほうでも考えてみて、いづれにしても研究会があるので、町と一体となってどういった方向でこれをさらに普及拡大をしていくか、研究していきたいと考えている。

町のPR

問

スピードスプレーヤーを使った曲芸噴射などができる曲芸チームを編成し、各イベントで活用すると、話題性があり、町のPRに

つながると思うが、いかがか。

答 (成田町長)

農薬散布用の機械であるので、人前で披露する場合は、安全面はもちろんのこと、液体の飛散に関しての衛生面、あるいは隊列を組む際の場所やスペースの確保などを考える必要がある。いづれにしても、議員が提案されたスピードスプレーヤーによる町PRに対して興味を示し、実施しようとする団体等があれば、まつり実行委員会等へ話題を提供していきたいと考えている。





成田 陽光

公共施設の
総合管理計画

問 国の国土強靱化計画に基づいてインフラの整備を進められていますが、地方においても、公共施設の老朽化が問題となっており、整備が喫緊の課題となっている。当町では昨年3月に、板柳町公共施設等総合管理計画を作成し、当町が置かれている状況、現状を鑑みつつ、公共施設の耐震性や利用、更新費用や管理費用などを再点検していることと思う。策定後1年が経過し、公共施設の整備計画の進捗状況について伺いたい。

答

(成田町長)

公共施設等総合管理計画の計画期間は、平成29年から平成68年までの40年間と長期であり、町の他の計

画との整合性を踏まえるため、社会情勢等の変化に弾力的に対応するために状況に応じて適宜見直しを行うことで充実を図っていくものとしている。また、更新費用等についても、耐用年数や長寿命化等の基本的な取り組みを考慮してシミュレーションしたものである。公共施設等総合管理計画をもって直接的に個別の施設の整備計画に直結するものではない。町の施設整備に關しては、これまで同様緊急等を考慮し、優先すべきものを優先し、財政状況を勘案しながら整備したい。大きな計画でも示していただく考え方はないものか。

答

(成田町長)

板柳中学校新校舎の改築工事が始まり、さらに、ふるさとセンターの青柳館の浴場、さらにはリンゴの加工場の改築工事の計画もある。これらの施設は、いずれも長年使用による老朽化によるものであって、このほかにも建て替えをする時期を迎えている施設がかなりある。公共施設の整備というものは、町の大きな課

学童保育

題となつていの中で、総合的に緊急性など、いろんな角度から検討しながら進めていく必要があるが、具体的にどういった事業から入っていくのかは答弁するのに厳しいということもある。また、インフラ整備においては、下水道の整備あるいは上水道の整備、こういったことも今手がけて向こう10年間には整備が終わること進めている。平成30年度においては、役場庁舎の耐震度調査の予算は計上している。

問

世の中の就労環境の変化や家庭環境の変化に伴い、小学校低学年の放課後の保育の場として、各小学校ごとに現在実施されている学童保育の場は、とても好評を得て活用されていると伺っている。現在の利用状況と運営の中身、そして今後の方向性について伺いたい。

答

(成田町長)

管内小学校の4カ所及び公民館において、1年生から4年生までを対象に実

問 利用者にとどのようなニーズがあるか調査しているか。

答

(若田介護福祉課長)

平成26年3月において、板柳町子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査ということで学童だけに絞ったアンケートではないが、行っている。学童クラブの理由について回答したのが300名となつている。あとは利用の有無や1週間の利用日数、利用開始時間、利用の終了時間、土曜日の利用意向などを聞いている。学童の放課後の過ごし方や放課後児

問

保育園は延長料を払えば、午後7時まで預かってくれるが、小学校は午後6時までとなれば、利用されている方々の利便性を考えれば、不便さを感じている部分もあるようだがどう感じるか。

答

(成田町長)

近年共働き世帯が増加している状況を考えると、仕事をしながらでも安心して子育てができる環境づくりというのは大変大事なことである。今後は子育て支援対策の一つとして学童保育、現在は放課後から午後6時までやっているが、例えば対象学年を4年生からまたさらに伸ばすとか、あるいは今お話ししたように時間を午後7時まで延長するとか、いろんなやり方があると思う。介護福祉課あるいは教育委員会のほうと協議しながら何とかいい方向でやっていきたいというふうに考えている。

常任委員会 審査

総務産業厚生 常任委員会

■コミュニティ助成金

Q 助成金の申請は、町のほうから申請を行うのか、それとも、コミュニティの方から要望を受けるのか。また、金額に上限はあるのか。

A 町の方から申請することもあるが、コミュニティの方からの要望を受けて申請する場合もある。今回該当になった消防団の育成については、上限100万円となっている。

■農業次世代人材投資事業

Q 平成30年度は、当補助金をもらっている人は何名になるか。

A 15名。内訳は個人13名、夫婦1組2名。

Q 補助金給付期間終了後も農業に従事しているか。

A 事業を継続していく上で、農業経営状況を審査し指導していくシステムをとって、途中でリタイヤした人はいないと認識している。収入もそれなりに得ていて、事業をうまく活用して農業を進めていると確認している。

■黒星病対策

Q 黒星病対策について、当町ではチラシを配付して注意喚起を行ったとのことだが、鶴田町では行政無線を使用して注意喚起を行っている。緊急を要する場合、放送で呼びかけても良いのではないか。

A 当町でチラシを配付していることを聞いた鶴田町の農家の方が、鶴田町役場へ対応を求めて、放送を流すように至ったという経緯を農林事務所の方から聞いている。緊急を要するものについては、総務課と相談して放送を使いながら考えていきたい。

◆陳情

臓器移植の環境整備を求め意見書の採択を求める陳情書

採 択

◆要望意見

Q 黒星病の発生が板柳町に著しく発生し、りんご農家にとつては死活問題であります。

A 農家の生産意欲を失わせないためと生産量確保のためにも、ぜひ、新農薬の開発と早期使用できるようにご尽力をお願いいたしました。要望いたします。



福祉建設文教 常任委員会

■ごみの回収

Q ごみの回収について、以前は朝に回収に来ていたが、現在は午後回収に来ている。カラスがごみをあさるため、どうにかできないか。

A ごみの回収はその日うちに来ており、業者には早めに回収するようにお願いしている。

■農道整備

Q 町の機械だと、狭い農道へ入っていき、整備されない場所がある。代わりとなる機械はあるか。

A 幅が狭ければ入れない場所はある。敷き砂利に関しては予算の関係もあり、十分に渡らない部分はあるが、産業振興課の方で組合長の方へあつせんしているので、活用していただきたい。



◆要望意見

現在、当町では、冬期間において、板柳中学校生徒が登下校する際の時間短縮と安全確保を図るため、通学バスを運行しております。

これは、昭和42年、中学校統合による条件として、沿川地区を無料とし、3キロ以上6キロ未満である①飯田地区、②小幡地区、③掛落林地区、④柏木地区、⑤牡丹森地区、⑥横沢地区、合わせて6地区に対して、有料ではあるものの、補助対象地区とし、利用する生徒へ補助を行っているものです。

少子高齢化が進む中で、子どもたち、その家族の様々な面で負担軽減となるよう、沿川地区同様、有料6地区に対しても「通学バスの無料運行」を強く要望いたします。



◆陳情

若い人も高齢者も安心して年金を求める意見書採択の陳情について

継続審査

視察・研修りポ一ト

福祉建設文教常任委員会 管内小中学校訪問

5月23日、板柳町管内小中学校を視察訪問しました。東小学校をスタートに、小阿弥小学校、北小学校、南小学校、板柳中学校の順に回り、南小学校では子供たちと同じ給食をいただきました。

主な内容といたしました。初めに各学校とも校長先生より経営方針の説明を受け、教頭先生、教務主任より学業及び生活環境状況、また課題等の説明を受けた後、校内を一巡し、最後に意見交換を行いました。学校の経営方針については、おおむね昨年からの継続的な方針となっているように思われました。今後、よりよい方向に向かうよう期待申し上げます。

学業については、県平均並みにはあるものの、学年ごとにばらつきがあり、また苦手科目があり、各学校とも改善策を上げております。

生活習慣等については、各小学校ではテレビゲーム、携帯電話などへの時間増加による学習意欲の低下が見受けられ

るようであり、学校と家庭との連携による改善が必要に感じられます。

そのほか、意見交換の場では、国が示すいじめの定義について、高校再編に向けての進路対策について、建物の維持補修修繕についてなど、意見交換することができました。

近年恒例となっている当委員会による視察訪問は、学校環境をじかに感じ取り、さまざまな問題を解消していく上での貴重な視察訪問であると思えます。

(委員長 今 浩一)



参加者：今浩一委員長、長内良蔵副委員長、北島弘美委員、葛西幸男委員、松森俊逸委員、成田陽光委員

町村議会 議員広報研修会

5月24日、県労働福祉会館において町村議会議員広報研修会が開かれ、今浩一副委員長、葛西幸男委員、久米田亥佐雄委員、成田陽光が参加しました。グラフィックデザイナー長岡光弘氏による講義では、読まれる議会だよりの編集と表現ポイントについて学びました。

読む関心を高める情報発信と、分かりやすい議会広報を重点に編集することを理解し、今後に活かしたいと思えました。より多くの方に手にとってもらえる議会だよりとなるよう、心がけます。

(委員長 成田 陽光)



より伝わる、より親しみやすい広報を！

全国町村議会 議長・副議長研修会

5月28日に、東京国際フォーラムにて全国町村議会議長会主催の議長・副議長研修会が開催され議長、副議長が出席しました。

町村議会特別表彰を受けた長崎県小値賀町議会等の事例発表や、町村議会議員の議員報酬等のある方、町村議会のあり方についての講演が主な内容でした。

昨今、議員報酬のあり方の議論や議会議員の魅力向上を図る議会改革の取り組みなどが全国各地で行われております。

議会改革とは、議会と住民の双方向の情報発信が大事であり、なにより、町発展のためであることを忘れてはいけないことを再確認できた研修でした。

(副議長 長内 良蔵)

黒星病関係

りんごの黒星病が津軽地域の広範囲で発生している問題で、6月25日にりんご黒星病の発生状況調査のため、被害が大きい園地の視察を行い、10名の議員が参加しました。当日は飯田、小幡、狐森地区の園地を回り、生産者から聞き取りを行いながら、葉や実の状態を確認しました。

(議員 久米田 亥佐雄)



参加者：葛西清人議長、長内良蔵副議長、北畠弘美議員、三戸玲子議員、成田肇議員、佐藤洋治議員、葛西幸男議員、今浩一議員、成田陽光議員、久米田亥佐雄議員



7月19日、青森県立武道館にて開催された、青森県りんご黒星病危機突破大会に8名の議員が参加しました。会場には、1000人を超える関係者が集まり、生産現場の発生状況や、黒星病の生循環と今後の防除対応についての報告や、生産者からの要望が提言され、りんご協会青年部長のかけ声で、乗り切ろう三唱を唱え、一丸となって決意を新たにしました。

(委員 長内 良蔵)



参加者：葛西清人議長、長内良蔵副議長、北畠弘美議員、三戸玲子議員、成田肇議員、葛西幸男議員、今浩一議員、成田陽光議員

議会の動き (4月～6月)

開催日	会議等名
4月	9日 議会だより編集特別委員会
	17日 議会だより編集特別委員会
	18日 議会運営委員会(6月会議日程等)
	20日 都市計画審議会
	24日 町例月出納検査(監査) 北畠議員
	27日 国民健康保険運営協議会
5月	1日 議会だより編集特別委員会
	11日 議員全員協議会(町諸案件等)
	町例月出納検査(監査) 北畠議員
	18日 議会運営委員会
	議案説明会
	21日 臨時会
	西北津軽郡町議会議長会総会 葛西議長
	福祉建設文教常任委員会協議会(管内小中学校訪問)
	24日 町村議会広報研修会
	25日 議案説明会
28日 全国町村議会議長会・議長副議長研修会 葛西議長、長内副議長	
31日 議会運営委員会(定例会案件)	

開催日	会議等名
6月	5日 青森県町村議会議長会臨時総会 葛西議長
	8日 議員全員協議会(町諸案件等)
	本会議(定例会日程、町長の提案理由等)
	11日 本会議(一般質問・5人)
	12日 総務産業厚生常任委員会(所管事務調査)
	福祉建設文教常任委員会(所管事務調査)
	13日 福祉建設文教常任委員会(所管事務調査)
	本会議(委員長報告、採決、閉会)
	14日 町例月出納検査(監査) 北畠議員

編集後記

表紙について一言。

五林平の薬王寺に於いて、5月6日に晋山式（住職の就任式）が行われ、集会所から薬王寺までのおよそ500メートルを、稚児行列を行った時の写真です。寺の行事ですので、みんな真剣な表情で、行列を組んでおりました。過去帳によると、天明元年（1781年）薬王庵を開基、明治6年（1873年）薬王院に改称とあります。薬王院の近くを通ったら、南無阿弥陀仏と唱えてやってください。

（委員 久米田 亥佐雄）

【発行責任者】

議長 葛西清人

※第19号発行予定は11月10日頃です。

議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。

一目で分かる審議結果

◆第3回臨時会

議案	結果
専決処分の承認を求めることについて （板柳町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例）	全員同意
専決処分の承認を求めることについて （板柳町税条例等の一部を改正する条例）	全員同意
専決処分の承認を求めることについて （板柳町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	全員同意
専決処分の承認を求めることについて （平成29年度板柳町一般会計補正予算）	全員同意
平成30年度板柳町一般会計補正予算（第1号）	全員可決
平成29年度板柳町一般会計繰越明許費繰越計算書について	

◆第10回定例会

議案	結果
板柳町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について	全員可決
板柳町特別災害による被害者に対する町税減免の特別措置に関する条例の一部改正について	全員可決
板柳町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正について	全員可決
板柳町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について	全員可決
板柳町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等の基準に関する条例の一部改正について	全員可決
平成30年度板柳町一般会計補正予算（第2号）	全員可決
平成30年度板柳町介護保険特別会計補正予算（第1号）	全員可決
板柳町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	全員同意
板柳町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員同意

◆第4回臨時会

議案	結果
加工場ジュース加工機器交換工事請負契約について	全員可決
平成30年度板柳町一般会計補正予算（第3号）	全員可決